

---

# 忌み子の子育て術

安藤 夏

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

忌み子の子育て術

### 【Nコード】

N5155BA

### 【作者名】

安藤 夏

### 【あらすじ】

忌み子と魔王の子供たちの閑話集です。

息抜きにどうぞ

## 料理編（前書き）

本編の7話と8話の間話になります。

## 料理編

「アル兄様、今度は何をやっているのですか？」

俺は赤ワインですじ肉を煮込みながら『陣』のノートをにメモを取っている。

一応料理中なのでマリアにも手伝ってもらっているが、1時間は煮込むので水が無くならないように見張っていないくちはならない。

「待っている間の暇つぶし」

サーゼスの家に住み着いて3年、台所は完全に俺のテリトリーになっている。

マリアも14歳の女の子なので料理を覚えたほうがいいという事で去年から台所に立っている。

元々この家では料理と言えば、『煮る』『焼く』『温める』くらいにしかなかった。

体が動かせるようになって3日目で俺が台所に立つようになった。

「暇つぶしで『陣』の改造ですか？」

マリアが変な目で見ている。

「んー。昔サーゼスが、俺の健康状態を診たけど、その応用で道具とか素材とかそういうのが観れないかなーって」

『陣』改造に意識を集中しているので、返答がなおざりになっているのは仕方が無いと思う。

何せ他の人とは違い俺、は魔力が使えない分魔力のこもった物質を消費しなくてはならないから他の人よりも『陣』の構造が複雑になる。

「アル兄様。それはもはや改造ではなく新しい『陣』の製作です」

俺はちようど行き詰っていたのでマリアの方に顔を向けて俺の祖父ちゃんの口癖を教える。

うん、一応教育係だからね。

「不便だなあ。めんどくさいなあ。こんなのがあったら便利だなあ。って思うことが人類の発展に繋がるんだよ」

マリアは、台所に置いてある調理器や庭を指差して詰め寄ってきた。

「圧力鍋・蒸し器、ここにある手押しポンプ？ 拳句の果てには畑用の水をくみ上げる揚水水車でしたっけ？他にも料理・鍛冶、何でも出来るじゃないですか！」

「え？ でも、あったら便利でしょ。鍛冶はさすがに真似事だけど、料理は自分で口にするものだよ。どうやって作られてるか知りたいと思わないの？」

母方の祖父も、父親も技術者だからいろんな道具を作るのを見ていたし、図面だってある程度かける。

「ある兄様は、何でも出来るにしてもむちゃくちゃすぎます」

呆れてものも言えないって顔はこういう顔なのだろうか？

「でも、俺の従兄弟の兄ちゃんよりましだよ。叔母さんが全部の家事の技術を仕込んで、買い物の上手な買い方とか全部教えた結果どうなったと思う？」

「家事万能になった？」

質問の意味が解らないらしく、当たり前前の答えになった。

「うん、そうだね。ただその兄ちゃんが料理人になったのが一番の問題になったんだけどね」

料理人になった従兄弟は、仕事が終わってから毎日に行き、安くて良い食材を買って家に帰る。

晩御飯の片手間に掃除、洗濯すべてこなしてしまう。そして一番の厄介なことは、外で食事しても原価計算をしてしまい。自分で作った方がいいという結論に達してしまった。

「マリア、これがどういうことか解る？」

顔を見れば解る。そのどこが悪いのか全く解っていない。

「結論から言うと、パートナー、つまり結婚する必要性が無くなっちゃたんだ。

むしろ恋人をつくると余計な手間を増やす。と言うか邪魔だって公言しているだよ」

マリアの顔が唾然となった。

「従兄弟がマリアと同じくらいの際には叔母さんと家事を分担し

てたから俺の母親も楽が出来て良いなあ。って思っていた時期があったらしいが、兄ちゃんがそうなってから俺は家事をやらせてもらっていない。

まあ、そのおかげで道具づくりに興味を持ったってところ。でも、一度家事を覚えちゃったから手遅れなんだけどね」

呆然としている。うん、面白い顔だ。

「だから、手の込んだ料理はルーには教えない。最低限は教えるけどワザど手間のかかる料理は一度経験してもらっけどね」

さて、そのときはどんな料理を作るか考えないとね・・・

## 料理編（後書き）

アル君の従兄弟のモデルは私です。

もし、男の子の子育て中の方がいましたら、家事はある程度できて  
も、面倒だと思わせるようにしてください。

2回ほど付き合ったことがありますが、料理の手際が悪くて美味し  
くなかった。正直に話したら怒ってそのまま自然消滅。

主夫暦10年と料理を始めて数年では当たり前ですけど、私も若か  
ったなあ・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5155ba/>

---

忌み子の子育て術

2012年1月14日10時50分発行